



ガイドによる情報発信

当ジオパークは、現在77人のガイドを有している。事務局の方針を受け、ジオパークに関するガイド及び地域住民への啓発活動に大きく貢献している。とりわけ、ガイドの役員の積極的な事業への関わりも大きくなっている。ここでは、ガイドが主になって企画し実践した数例を紹介する。担い手育成に関して、他のジオパークからご意見を拝聴したい。

わくわく!!どきどき!!ジオラフティング体験 2020.9.13 実施

2019年度から当ジオパークでは、「苗場山麓ジオラフティング」を実施している。その意図は、ガイド自ら体験することでガイティングの質を高め、醍醐味を味わうと共に、川岸の地形や地質(地層)を水平目線で知る取組です。

コースは、長野県側5km、新潟県側1kmの県境をまたぐ約6kmの道のりです。主に、火山砕屑岩を主体とした魚沼層群の地層(約200万年～100万年前に堆積)を観ることにあります。コース内の見どころは、以下の通りです。

- ①安山岩の柱状節理(貫入岩)の露頭の観察
- ②千曲川の支流の河口付近に上陸して運河跡の地形や歴史探訪
- ③くさび跡の入った巨岩と無斑晶ガラス質安山岩(爪石)の観察
- ④ゴンドラの往復する風景(栄村塩尻)の話題と観光のスポット
- ⑤宮野原橋下付近に大正時代の遺構(楔石)の発見*

*2021(令和3)年度のツアーで「黒石波止場」と確認

なお、2021.9.25に予定していたツアーはコロナ禍で残念ながら中止となった。



長野県栄村、小滝四ツ廻りの付近



県境(宮野原橋下)のくさび石

魅力あるジオツアーの開発 「今戦国が面白い」 2021.2.7 実施

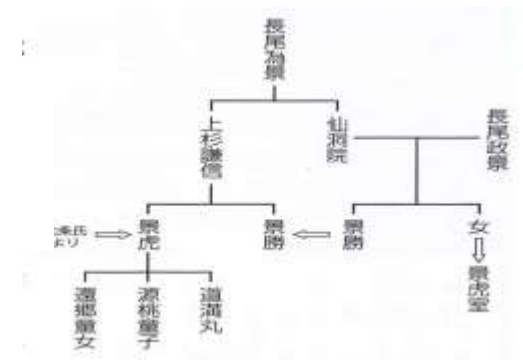
ガイドが企画したツアーを紹介します。テーマは、「今、戦国が面白い」です。副題は、御館の乱(道満丸)伝説を巡る山城と寺院の旅、山の突端の地形をうまく利用して作られた仙当城をきっかけに大地の特徴を知り、まつわる歴史を知る魅力的なツアーです。

このツアーでは、上杉謙信とその家系も知ることができます。謙信は、生涯独身であったため、姉の仙洞院と長尾政景の子・景勝と北条氏から景虎を養子に迎えました。謙信亡き後、この養子間で跡目争い(御館の乱)が起こり、景勝が勝利しました。

その際、景虎の子、道満丸は殺害されたとされます。ところが、景虎に味方していた市河氏とその道満丸を助け、津南町の大龍院にてかくまっていたという伝説があります。この伝説の地である常慶院、元寺、仙当城ほかを巡ります。この企画を2ヶ月に1回発行している「苗場山麓ジオパークだより」に掲載したところ、「いつこのツアーをするのですか?」「今から楽しみにしています。」など、すでに反響が出ています。



せつとうじょうと 仙当城跡



仙洞院と上杉家系図

ガイドによるユーチューブチャンネルを活用した苗場山麓ジオパークの紹介



冬の樹木の遊び



谷の展望台からの眺望



ガイド研修(雪上トレッキング)

昨年度から、ガイドが、サイトの各地を散策する中で、気に入った風景や事象を随時スマホで撮影し、それを苗場山麓ジオパークのホームページに現在「小滝の凍み渡り」、「川の展望台 冬編」など8編が掲載されています。特に苗場山麓の冬の映像は、雪国ならではのものです。是非ご覧ください。合わせて、苗場山麓ジオパークのホームページも開いていただければと思います。(URL: <http://naeba-geo.org/>)

現在、コロナの後を見据え、ジオガイドが実践していること、今後の課題について、いくつか挙げてみます。

ガイドの活動・・・これからの課題と実践の方向

- 1 ガイドのインタープリターへの意識化と実践(総合的なガイド力を身につける実践の積み重ね)
- 2 環境保全に関する、モニタリングの継続的な実施(定期的なモニタリングシートの情報共有)
- 3 新しいサイト(ジオ・エコ・カルチャー)を取り込んだ新ジオツアーの提案と実施(ジオとの関連付け)
- 4 持続可能なジオパークのための若手ガイドの育成及びガイドにおける知のネットワークの構築
- 5 防災に関して、ガイドの果たす役割についての研修と実践(右の写真)
- 6 ユーチューブを活用した苗場山麓ジオパークの適時な情報発信の継続(編集のできる人材を育てる)



防災についてのワークショップ